

44 ヤマシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Scolopax rusticola

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州中部では留鳥または冬鳥、本州南西部、四国、九州、沖縄では冬鳥。兵庫県では主に10-翌4月上旬に見られる。平地から山地の森林に生息し、主に夜間に行動する。林内や林縁、農耕地などでミズ類を好んで採食する。



写真提供:三木敏史

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中部、本州南西部、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(明石市)、西宮市、洲本市、(芦屋市)、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、宝塚市、(川西市)、篠山市、丹波市、南あわじ市、(朝来市)、淡路市、(稲美町)、香美町



主要な選定理由

| 影響の人為性 | | | | | 生態の脆弱性 (特殊性) | | | 学術上の希少性 | |
|--------|-------|----------|-------|-------|--------------|--------|----------|---------|----|
| 個体数激減 | 分布域激減 | 餌の可用性の低下 | 特殊競争圧 | 特殊捕食圧 | 特殊繁殖環境 | 特殊採餌環境 | ね特殊休息環境・ | 局地的繁殖 | 希少 |
| | | | | | | | | | |

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
夜行性であるため人の目につきにくいこともあるが、県南部では記録されなくなった地域が増えている。

保護上の留意点

生態については情報が少なく、不明な点が多いが、薄暗い湿った林に好んで生息し、山間の湿地環境が主要な採食地となっていることから、山間部の湿田を良好に維持することが本種の保護にも繋がると考えられる。